



あれは、トラウマやこころのケガの影響だったのかも。。。

動画内の A さんの経験では、



日常生活で起きる無害な出来事が A さんの文脈では刺激となり、  
トラウマやこころのケガの再体験につながっていました。



気づききっかけを増やすために、動画の内容を振り返ってみましょう。

- ① これまでの児童相談所でのご自身のご経験、関わったケースから  
「あれはトラウマやこころのケガの影響だったかもしれない」と思い起こされることや  
気づいたこと、気になったことはありますか？(なんでも書き出してみてください)



例)

お皿が割れる音、子ども同士が喧嘩する声を聞いて急に暴れ出した(闘争反応かもしれない)  
親に指導やアドバイスを رفتっていたが面接に来なくなった(回避の反応かもしれない)

- ② ①について同僚やチームで共有した時に、同僚やチームメンバーの話で印象に残ったことのメモ欄  
(お互いに出しあうことで、トラウマやこころのケガに気づききっかけ、疑問や意見などをさらに深めやす  
くなります。また、共有する際は、ご自身や誰かを責めないこと、話したくないことを無理して話す必要はな  
いことをご確認ください。)



支援の場で、子どもや養育者(保護者)の言動に対して持ってしまうことがあるネガティブ  
な感情について、思い浮かんだことを同僚に話しにくいなと思うところがあります。

そうですね。「あなたの行為は虐待に当たります」と伝える場面などでは、養育者(保護者)から  
の反応を直接受けることも多いと思います。動画の中でもお話しましたが、相手にネガティブな  
感情を持ってしまうことは、支援者でも当たり前のことであり、ご自分や誰かを責める必要はあり  
ません。無理に誰かと話す必要はありませんし、もし誰かからそのような話をされた時には、受け  
止めようと思っておくとよいかもしれませんね。



左の QR コードを読み取っていただくと、お問い合わせページへつながります。  
ご意見、ご感想もお待ちしております。



Next Lens's HINT

PTSDの4症状  
〇〇の反応